



10.13日 町消防本部の署員が丸森町で災害救助活動

10月13日から16日までの4日間、町消防本部の署員7人が「緊急消防援助隊」として、このたびの台風19号で大きな被害を受けた宮城県丸森町に派遣され、災害救助活動を実施しました。

緊急消防援助隊は、被災地の消防力のみでは対応困難な大規模な災害の発生時などに要請を受けて出動し、現地で災害救助活動にあたるもので、当町の消防本部から署員が派遣されるのは今回が初です。

署員たちは、特に被害の大きかった丸森町役場周辺の町中心部などで住民の安否確認や救出活動、捜索活動などを行いました。

現地での活動を終えた署員たちは17日に町役場を訪れ、渡邊町長へ活動報告を行いました。



緊急消防援助隊として丸森町へ派遣され、災害救助活動を行った町消防本部の署員(上)終了後には町役場を訪れ、渡邊町長へ活動報告を行いました(下)

9.27日 五城目小学校改築工事安全祈願祭が実施

9月27日、五城目小学校改築工事の安全祈願祭が、新校舎の建設される雀館運動公園敷地内で行われました。

祈願祭は、新校舎の工事請負業者の株式会社長谷駒組が主催したもので、渡邊町長や町議会議員、学校関係者など約50人が出席。渡邊町長は「子どもたちの学び場が安全に完成することを願います」とあいさつを述べました。



工事の安全を祈願し、渡邊町長がくわ入れを行いました。



新校舎の工事に着手し、雀館運動公園周辺では建設機械が入りしています。付近を通行の際はご注意ください。(上)現在は杭打ちなどの土工事を行っています。(下)

10.18日 大槌町の仮設住宅で復興支援米を配布

10月18日、町民6人がボランティアで岩手県大槌町を訪れ、仮設住宅に住む方々に五城目町産新米あきたこまちの復興支援米を配布しました。

東日本大震災発生時、被災した本町の町民がお世話になったご縁から始まったこの支援は、仮設住宅の制度の終了に合わせて、今年度を最後としています。

平野公三大槌町長からは、この事業に対する感謝の言葉をいただきました。



大槌町の仮設住宅に住む皆さんに、五城目産の新米あきたこまちを配布(左)、平野公三大槌町長から、今までの配布事業に対する感謝の言葉をいただきました。(右)



旬のキノコなどを求め、町内外から多くの方が来場しました。

10.20日 秋の味覚がずらりきのこまつりを開催

10月20日、朝市通りで秋の朝市「きのこまつり」と「五城目朝市plus+」を開催しました。

朝市通りには、ナメコやマイタケ、アケビ、栗などを販売するお店や、雑貨や小物、お菓子など88店舗の出店がありました。

抽選コーナーや、だまこそば、だまこ鍋などのお店には行列ができ、朝市通りは町内外から訪れた8,500人でにぎわいました。



最優秀賞を受賞した雀館町内さくらの会(一般団体の部)の皆さん④と、養護老人ホーム森山荘(学校・職場団体の部)の花だん⑤

10.23日 9団体が受賞町花だんコンクール表彰式

10月23日、五城館で「町花だんコンクール表彰式」を開催しました。

式では、2つの部門に応募のあった計73団体のうち、9団体に表彰状が授与されました。

- ▶ 審査結果(敬称略)
- 一般団体の部
 - ・ 最優秀賞 雀館町内さくらの会
 - ・ 教育長賞 富田千寿会、谷地中老人クラブ、野田老人クラブ寿会
 - ・ 町老人クラブ連合会長賞 紀久栄町老人クラブ、帝釈寺老人クラブ 健奏会
 - ・ 町花いっぱい推進委員会長賞 矢場崎老人クラブ葉桜会、岡本一区老人クラブ盛寿会
- 学校・職場団体の部
 - ・ 最優秀賞 養護老人ホーム森山荘

10.10日 これからも夫婦そろって仲睦まじく結婚50年をお祝い



10月10日、結婚されて50年を迎えられるご夫婦をお祝いする「金婚を祝うつどい」を五城館で開催しました。

今年度、町内で対象となるご夫婦は57組。そのうち24組が出席され、渡邊町長が皆さんに賞詞と記念品を手渡し、金婚をお祝いました。

10.6日 行政相談週間にあわせ啓発活動を実施



10月6日、行政相談委員の鍋谷鶴芳さん(67歳・築地町)がイオンスーパーセンター五城目店前で啓発活動を行い、来店者へ行政相談制度を呼びかけました。

行政相談委員は、行政の仕事やサービスに関する苦情や意見、要望などを受け付け、助言や関係行政機関に対する通知などを行っています。